

# 自然エネルギーを活用した「災害対応型ウォーター・ステーション」普及・実証事業 株式会社いちごホールディングス(宮城県)

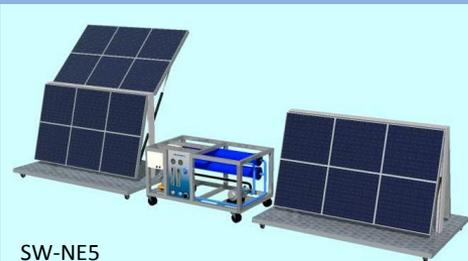
## ミクロネシア国の開発ニーズ

- 国土が広大な地域に点在し、狭隘性を有するため、インフラ整備が困難
- 安全かつ持続可能な飲料水供給システムが必要
- 気候変動の影響に対して脆弱であり、台風や渇水等による水不足が日常的に発生
- 災害時でも稼働可能な飲料水供給拠点が必要

## 普及・実証事業の内容

- 成果1. 提案製品の浄水技術・性能を実証し、現地の地域条件を踏まえた適用性の実証
- 成果2. 提案製品を組み合わせた「災害対応型ウォーター・ステーション」の水供給事業にかかる管理・運用体制の整備
- 成果3. 提案製品の災害時を想定した給水訓練を実施し、緊急時の給水活動体制及び方針を整備
- 成果4. 給水事業の採算性分析を元に製品販売・普及計画策定

## 提案企業の技術・製品



SW-NE5

小型かつ移動型で太陽光・ガソリン・手こぎ等、多様な動力で運転可能なRO浄水装置

—移動型海水淡水化RO浄水装置: SW-NE5, SW-NE1

—移動型ブラキッシュRO浄水装置: BW-GS5 & BW-NE5

—手動型淡水用RO浄水装置: BW-HP

## 事業概要

相手国実施機関: チューク州政府

事業期間: 2016.8~2018.4

事業サイト: ウエノ島及び周辺の島々

## ミクロネシア国側に見込まれる成果

- 安全かつ持続可能な飲料水供給システムの確保
- 渇水や高潮等の災害リスクにも強い飲料水供給拠点の確保
- 装置の運用および維持管理ができる人材の能力開発、技術の継承

## 日本企業側の成果

### 現状

- 提案装置はこれまで東日本大震災等における国内の被災地で活用
- 自治体による緊急時・災害対策用の浄水装置として設置され、避難訓練にも活用

### 今後

- 水インフラの整備・管理が困難であり、災害にも脆弱なミクロネシア国へ当該装置を普及させるべく、販売体制を構築
- ミクロネシア国での実績をベースに、周辺国や他地域への展開を図る
- 国内へのフィードバック